



【編集発行】

高島市文化協会

高島市安曇川町田中8-9

TEL 090-7874-8640

FAX 0740-32-4011

【題字】

大西 巖 顧問

クラブ御紹介 ～ 節目の年を迎えた～

高島市文化協会には永きに渡り精力的に活動を続けておられるクラブがたくさん所属しています。そこで、今年度、節目の年を迎えられるクラブの結成からこれまでの歩み、活動等をご紹介します。

大正琴クラブ (マキノ) 30周年

代表者：谷口一美 / 講師：長谷川綾子

大正琴クラブは、発足から30年くらいになります。マキノ老人福祉センターで練習していましたが、4年前からマキノ公民館で毎月第1・第3木曜日の午後1時30分から4時30分まで、長谷川綾子先生にご指導いただき活動しています。10年位前までは会員数も多かったのですが、皆さん高齢となり次々と退会され、今はクラブに入って5年から10年の会員6名で頑張っています。毎年11月3日のミュージックフェスティバルの発表に向けて、懐かしい曲や新しい曲を練習しています。また、福祉施設や地域の行事等から依頼をいただきボランティア活動で訪問し、和気あいあいと楽しく演奏会をしています。昨年からコロナの感染拡大で行事等も中止になり発表の機会もなくなりました。1日も早くコロナが終息することを願っています。大正琴に興味のある人は練習日に気楽に見学に来て下さい。大歓迎です。



普段の練習の様子 (マキノ公民館)

マキノ絵手紙サークル (マキノ) 15周年

代表者：平山あけみ / 講師：森田トミ子

マキノ絵手紙サークルは平成17年に顔見知りの仲間と絵手紙教室に参加したのがきっかけで始め、現在は9名の部員です。森田トミ子先生にご指導を受けながら、月1回、2時間、テーマを決め各自が用意した画材に向かって世間話をしながら和気あいあいと描いています。会話が弾んでしまい1枚描くのが精一杯の時もあります。幅広い年齢の集まりで笑い声が絶えることはありません。教室の最後には、出来上がった作品を並べてみんなで鑑賞会です。褒め上手な先生より一人ずつ講評です。ユーモアたっぷりです。季節の花や野菜など、たまには風景が自由に描けたらどんなに楽しいでしょう。「人生百年」、いつまでも趣味を通して友人の輪を広げたいですね。



マキノ陶芸クラブ (マキノ) 40周年

代表者：吉川善信 / 講師：松宮明美

マキノ陶芸クラブが結成された年月日は定かではありませんが、幾人かの人に問い合わせてみますと、土に学ぶ里研修センターが完成、業務開始されて間もなく陶芸クラブは活動されていたとのことで、来年には40周年を迎えることとなります。さて、マキノ陶芸クラブの活動状況ですが、現在29名の会員が活動しておりますが、大人数でもあり現下のコロナ禍の中で一堂に会することはできず二班に分かれての活動となっております。陶芸は「土」「釉薬」「焼成」の三段階で楽しめる数少ない趣味のひとつと言われております。会員の皆さんも、日常使いの器、大小のオブジェや花器など多彩な作品作りを楽しんでいます。また、会員であるお母さんと一緒に小学生・中学生が陶芸を楽しんでくれています。運営面では「作陶」「焼成」「文化祭・研修」の3グループ毎にチーフを置き、皆さんが何らかの形で関わって頂いております。制限のある活動が続いていますが、一日も早くコロナが終息し、会員一同で県内外への研修を開催し、交流が図れることを願っています。



昨年の公民館ロビー展示の様子